

2. 最近の消費状況等

- (1) 2020年の東京五輪・パラリンピックの選手村等で使われる食材については、農業生産工程管理（GAP）の認証が要件になっていますが、貴社が取り扱う野菜について、生産者等に対してGAPの取得要請を今後行う考えはありますか。また、予定していない場合には、GAPについてどのように考えていますか。

- (2) 様々な販売先・仕入先の取引条件を簡単に検索でき、条件に合った相手先を見つけることができるサイト「agreach」（農林水産省が開設）を始めとして農業者・団体から実需者等に直接販売するルートの拡大が推進されていますが、卸売市場を通じた取引は今後どのような対応を行っていくことが必要と考えていますか。

- (3) 貿易統計によると、生鮮野菜の輸入量は、昨年7月以降10カ月連続で前年同期比を上回っている状態にありますが、今後とも輸入が増加すると見込まれる生鮮野菜はどのようなものがありますか。
また、ここ2年間、9～10月にかけての台風の襲来や秋雨前線の停滞により野菜価格の高騰が見られますが、流通サイドとして今年度どのような対応を講じていますか。

- (4) 今夏の注目すべき野菜はどのようなものがありますか。前記「1. 野菜の今後（7～10月）の需要見通し」に係る品目以外の野菜でお願いします。